

# 大野町の建設業・山辰組が開発

## 創意開発技術賞 ため池の決壊防止

# 排水装置、国交相表彰



土木建設業の山辰組（大野町稲畑）が、ため池や天然ダムの決壊防止を目的に開発した工法「ハイブリッド・サイフォン排水装置」が、建設分野の優れた新技術を表彰する国土技術開発賞の創意開発技術賞を受賞した。（杉原康仁）

装置は発電機でポンプを動かしてホース内を水で満たせば、電源を切っても、サイホンの原理でため池から排水し続ける仕組み。従来は水をくみ上げるのに発電機を動かし続けていたため、大量の燃料が必要だった。

だが、この装置は発電機の稼働時間が1分ほどで済むため、コストを大幅に削減できる。豪雨の際、防災重点ため池やダムの事前放流に活用する。

表彰式が東京都内であり、馬淵和三会長(68)と馬淵剛専務(39)が、国土交通大臣名の賞状を受け取った。馬淵会長は「社会に貢献できる技術として普及に取り組みたい」と意気込んだ。馬淵専務は初めての応募での受賞に「確かな技術として認められ、自信になった」と話した。

国土技術開発賞は、国土技術研究センターと沿岸技術研究センターが主催し、本年度は全国から40件の応募があった。

創意開発技術賞の賞状を掲げる馬淵和三会長（左）と馬淵剛専務＝大野町稲畑、山辰組